

理 由 書

旧上瀬谷通信施設地区（以下、「本地区」という。）は、構造改革特区により、令和2年1月に市街化調整区域内の土地区画整理事業（市施行）の実施について認定を受けました。その後、令和2年3月に「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画」を策定し、まちづくりのテーマと方針、土地利用・基盤整備の考え方や4つの土地利用ゾーン等を示しました。そして、令和4年4月に環境影響評価書を確定するとともに、旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業を都市計画決定しました。

その後、土地区画整理法に基づく手続きを経て、令和4年10月に土地区画整理事業の「事業計画」を決定し、令和5年2月には地区全体で目指す姿を示す「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画デザインノート」を策定するなど、各地区の土地利用が進展してきています。

本地区で整備を予定している防災・公園地区では、GREEN×EXPO 2027を開催し、その後、そのレガシーを引継ぎ、立地特性を生かし、強靱なまちづくりの象徴として、「環境」「防災」をテーマにした公園を整備します。公園には、災害時に全国から応援に駆けつけるベースキャンプ機能を有するとともに、本市最大規模の物資を備蓄し、市域の避難所にいち早く送り届けるための拠点機能を有する「広域防災拠点」の整備を予定しています。

このたび、本地区に整備を予定している広域防災拠点の機能を最大限に発揮するとともに、市民の暮らしや経済の活性化に繋がる安定的な物流の確保を目指し、東名高速道路と本地区を直結する1・3・4号横浜上瀬谷インター線を追加します。